



ケニア共和国 (Republic of Kenya)



- ケニアへの援助総額は2014年度までに累計5,687億円。
- サブサハラODAの累計第一位であり、インフラ、農業、教育分野等においてアフリカにおけるODA案件のモデルケースを多数生み出してきた。
- 2016年8月のTICAD VI開催国(初のアフリカ開催)。

国概要

(基礎データ)

- ・ 面積: 58.3万平方キロメートル(日本の約1.5倍)
- ・ 人口: 4,605万人(2015年, 世銀)
- ・ 首都: ナイロビ(首都圏人口約390万人)
- ・ 民族: キクユ人、ルヒヤ人、カレンジン人、ルオ人等
- ・ 言語: 公用語はスワヒリ語及び英語
- ・ 宗教: キリスト教、イスラム教
- ・ 政体: 共和制
- ・ 議会: 上・下二院制(上院68議席, 下院350議席)
- ・ GDP: 634億ドル(2015年, 世銀)
- ・ 一人あたりGDP: 1,377ドル(2015年, 世銀)
- ・ 経済成長率: 5.6%(2015年, 世銀)
- ・ 失業率: 9.2%(2014年, 世銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1963年	英国から独立
1964年	共和制移行(ケニヤッタ初代大統領)
1978年	モイ大統領就任
1982年	ケニア・アフリカ人国民同盟(KANU)一党制法制化
1991年	複数政党制再導入
2002年	総選挙, キバキが第三代大統領に
2007年	総選挙, キバキ大統領再選発表に対し暴動発生
2008年	キバキ=オディンガ与野党連立政権成立
2010年	新憲法採択
2013年	総選挙, ケニヤッタが第四代大統領に(任期5年)

援助実績

スキーム	額(累計)/人数(延べ)
円借款	3,306.3億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	1,240億円 (2014年度末時点)
技術協力	1,128億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ1,588人 (2016年7月時点)

出典: ODA国別データブック2015

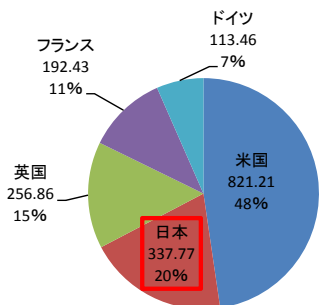
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)

(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からケニアへの輸出	1,120.8億円 (2015年, 財務省貿易統計)
ケニアから日本への輸出	84.7億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在ケニア日系企業数	47社 (2015年10月時点, 外務省統計)

ケニアへの主要ODA供与国(2013年実績) (単位: 百万ドル, 出典: OECD/DAC)



人的つながり

項目	人数(直近年)
ケニアにおける在留邦人数	804人(2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日ケニア人数	760人 (2015年12月時点, 法務省在留外国人統計)
ケニアから日本への留学生数	156名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

日本とケニア共和国との協力年表

年代	案件
1963年	ケニアは英国から独立, 日本と国交樹立
1964年	在ケニア日本大使館開設
1966年	青年海外協力隊第一期生がナイロビに到着
1969年	協力隊支援のための駐在員事務所をナイロビに開設
1971年	現JICA前身のOTCAケニア事務所が開設
1973年	円借款「モンバサ空港拡張計画」の国際約束締結
1975年	円借款「新ニヤリ橋建設計画」の国際約束締結
1977年	無償資金協力による大学(後のジョモ・ケニヤッタ農工大学)建設計画開始
1979年	駐日ケニア大使館開設
2007年	円借款「モンバサ港開発計画」の国際約束締結
2007年	JETプログラムでケニア人の受入開始
2010年	円借款「オルカリアI 4・5号機地熱発電計画」の国際約束締結
2015年	オルカリアI 4・5号機地熱発電所 竣工式典
	ジョモ・ケニヤッタ農工大学 総合大学昇格20周年式典
2016年	ボランティア50周年式典
	円借款「オルカリアV地熱発電開発計画」の国際約束締結 サブサハラ過去最大となる456.9億円を供与
	TICAD VIがケニアで開催, 安倍総理が国賓としてケニアを訪問 主な成果として, ● 日ケニア共同声明を発出 ● 日ケニア投資協定の署名 ● モンバサ経済特区(SEZ)開発に関するMOUを締結
	モンバサ港コンテナターミナル(フェーズ1)完工式典

建設機械の技術指導を行う青年海外協力隊員(1966年)



建設機械の技術指導を行う青年海外協力隊員(2014年)



オルカリアI 4・5号機



JKUAT 総合大学昇格20周年を記念して建立されたモニュメント



日・ケニア首脳会談後の共同記者発表



モンバサ港コンテナターミナル(フェーズ1)全景



国連PKO局の「アフリカ施設部隊早期展開プロジェクト(注)」の試行訓練, 第1回及び第2回訓練を国際平和支援訓練センター(IPSTC)にてホスト(注: 日本が財政及び人的支援を行っている)

